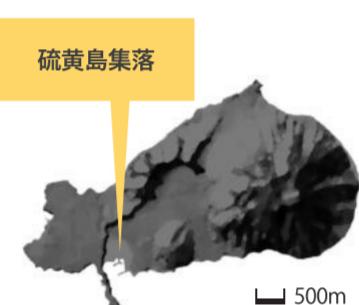




# 10



硫黄島集落

硫黄島地区四〇代女性

500m

## 思い出話

「祭りの仕方を個人で継いでいた太夫がいなくなつて、様々な人の助けで祭りが引き継がれました。いま祭りは団体で継ぐ方がよいのかもしれません。」

踊りは踊り手二〇人程と、そこから二人づつ宮鳥（みやがらす）役と疱瘡踊り役が選ばれる。神の遣い宮鳥は、硫黄島の疱瘡踊りだけの踊り手。鳥役は鳥の頭に似た飾りを頭につける。一日目の踊りはお伊勢参りの道中を、二日目は宮鳥の案内でお宮に参る様子を表す。

兩日で歌も踊りも違って種類が多い。二列で唄いながら踊るが、前後向きを変えたり、時に輪になります。紙垂（し）では太夫が作つたが、いまは婦人会で作る。婦人会は踊りの道具の飾りつけもする。

## 九月踊り

**硫黄島**

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	1	○ 旧 8/15	○ 満月 旧 8/16
4	○ 旧 8/18	5	○ 旧 8/19	6	○ 旧 8/20	7
11	○ 旧 8/25	12	○ 旧 8/26	13	○ 旧 8/27	14
18	● 旧 9/2	19	● 旧 9/3	20	● 旧 9/4	21
25	○ 旧 9/9	26	○ 旧 9/10	27	○ 旧 9/11	28
						○ 上弦 旧 9/12
						○ 新月 旧 9/13
						○ 下弦 旧 9/14
						○ 満月 旧 9/15